

「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その4）」

宮城学院女子大学 八木 祐子

1. はじめに

本稿は、筆者が、2018年に、北インド、ウッタル・プラデーシュ（Uttar Pradesh）州東部のアザムガル（Azamgarh）県で調査をおこない、婚姻儀礼のさいに収集した民俗歌謡の事例報告の続編、その4である。調査地域はボージプリー（Bhojpurī）というヒンディー語の東部方言を話す地域に属し、様々な民俗歌謡がうたわれる地域として知られている [八木 1990]。調査地域において、婚姻儀礼は、シャーディー（Śādī）、ゴウナー（Gaunā）、ドーゲー（Doge）の3段階にわたっておこなわれる。そのなかでも最も主要なシャーディーについて記述する。これらの様々な儀礼ごとに、婚姻儀礼の民俗歌謡（Vivah Kā Gīt）が、主に既婚女性たちによってうたわれる。1日目～6日目は、花嫁、花婿双方の家で儀礼がおこなわれる。婚姻儀礼の概要と1日目のウルド・チャーワル・チャンナー儀礼の民俗歌謡については、「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その1）」で報告 [八木 2020] し、4日目のウルド・カー・ドイヤー・ドナー、及び5日目のマンダップ・ウタルナーのさいにうたわれる民俗歌謡については「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その2）」で報告した [八木 2021b]。また、前号の「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その3）」で、マット・マンガラと呼ばれる6日目の儀礼と民俗歌謡について報告 [八木 2022] した。今回は、7日目の民俗歌謡の一部について報告する。

当該地域の先行研究や婚姻儀礼の詳しい過程、社会変化については、別稿を参照していただきたい [八木 1990, 1991, 1992, 1999, 2010, 2015, 2021a, 2022]。なお、とりあげる民俗歌謡の事例は、その1、その2、その3と続いているので、番号は前回の続きとする。

なお、本報告は、文部科学省の科学研究費基盤研究C「北インド、ボージプリー文化圏の民謡に関するジェンダー分析」（課題番号17K02032）の助成を受けており、本報告は、その成果報告の一部である。

2. 1日目の民俗歌謡

(1)～(3)については、その1で報告しているので、ここでは省略する。

3. 4日目の民俗歌謡

(1)については、その2で報告しているので、ここでは省略する。

4. 5日目の民俗歌謡

(1)については、その2で報告しているので、ここでは省略する。

5. 6日目の民俗歌謡

(1)～(9)については、その3で報告しているので、ここでは省略する。

6. 7日目の民俗歌謡

7日目の午前中、村の男性たちが花嫁の家でおこなわれるビヤーフ (biyāh) と呼ばれる一連の儀礼に参列するため、花婿行列に出発する。その前に、花婿に対するいくつかの儀礼が、床屋カーストの女性であるナウンを中心として、親族の女性たちによっておこなわれる。花婿に対する儀礼には、パーンチ・パウエル、イナール・ビヤーフ、パリチャン、パオン・プージャー、ナークーン・ランガイハなどがあるが、いずれも花嫁に対しても、同様におこなわれる。本稿は、花嫁の家での儀礼や民俗歌謡についての報告であるので、花嫁に対する儀礼のなかで、個々に述べる。ちなみに、歌詞にたびたび登場するバンニー (bannī) は、もともと女の子を意味であるが、ここでは、花嫁のことを指している。

(1) パーンチ・パウエル

5人(パーンチ)が食事をして、儀礼場を5回まわる(パウエル)。2018年のサンギータの婚姻儀礼の場合は、7日目の昼に、4人の子どもと花嫁サンギータに対する食事が供された。その後、結婚の柱のまわりを、母方の叔母がサンギータの後ろに立ち、サリーで頭に触れて、水をこぼしながら、左周りに5回まわった。事例25は、そのさいに、既婚女性たちによってうたわれた民謡である。

(事例25)

एक भावरि आवै दुसरी भावरि आवै तीसरे में वहै पूरुबी बयरिया हो।

बन्नी घुमिला भवरिया।

एक भावरि जाले दूसरी भावरी जाले तीसरे में वहै ले पूरुबी बयरिया हो।

बन्नी घुमिला भवरिया।

तीसरे भावरि जाले चौथी भावरि जाले पचवी में वहै ले पूरुबी बयरिया हो।

बन्नी घुमिला भवरिया।

ek bhāvāri āvai dusarī bhāvāri āvai tīsare mein vahai pūrubī bayariyā ho.

bannī ghumilā bhavariyā.

ek bhāvāri jāle dūsarī bhāvārī jāle tīsare mein vahai le pūrubī bayariyā ho.

bannī ghumilā bhavariyā.

tīsare bhāvāri jāle chauthī bhāvārī jāle pachavī mein vahai le pūrubī bayariyā ho.

bannī ghumilā bhavariyā.

1回まわってきます。2回目にまわってきます。3回目に東からの風が吹きます。

バンニー（花嫁）がまわります。

1回まわって行きます。2回目にまわって行きます。3回目に東からの風が吹きます。

バンニーがまわります。

3回目にまわって行きます。4回目にまわって行きます。5回目に東からの風が吹きます。

バンニーがまわります。

(2) イナール・ビヤーフ

イナールは井戸、ビヤーフは結婚を意味する。花嫁が母親に付き添われて、井戸を左回りに5回まわり、水の神に結婚の成功を祈る。事例26、事例27は、そのさいに村の女性たちによってうたわれた。すでに、20年以上前から井戸は使われなくなっている。だが、水の神と関わるため重要視され、婚姻儀礼においては、井戸にお参りして儀礼をおこなう。

(事例26)

चले नारद छीर सागर की ओरिया।

आपन सा रूप भगवन हमके तू दैदा।

हमहू लियाइब दुलहिनिया।

चले नारद छीर सागर की ओरिया।

chale nārad Chhīr Sāgar kī oriyā.

āpan sā rūp bhagavan hamake tū daidā.

hamahū liyāib dulahiniyā.

chale nārad Chhīr Sāgar kī oriyā.

行っています、ナーラド（神）が、チルサーガル（ヴィシユス神の住処）の方へ。

あなたのような（美しい）姿を、バグワン（神）よ、私に、あなたはください。

私は連れてきます、ドラヒニヤ（花嫁）を。

行っています、ナーラド（神）が、チルサーガルの方へ。

(事例27)

शिरवा पे धड़लै चदरिया हो।

बन्नी घूमै भवरिया।

पहिली भँवरि गाइनी दूसरी भावरि गइनी।

तीसरे में गंगा लहरिया हो।

बन्नी घूमै भवरिया।

śhiravā pe dhailai chadariyā ho.

bannī ghūmai bhavariyā.
pahilī bhanvari gainī dūsarī bhāvāri gainī.
tīsare mein gangā lahariyā ho.
bannī ghūmai bhavariyā.

頭に巻いてください、チャッダル（スカーフ）を。
バンニーがまわります。
1回まわって行きました。2回目、まわって行きました。
3回目に、ガンガーの波のうねりがあります。
バンニーがまわります。

(3) パリチャン

母親が花嫁の頭上で、箕、サリーの端、杵、香辛料をつぶす石棒、ヨーグルトの攪拌棒、水の入ったコップや土の壺などのうち、5つの品物を、左回りに5回ずつまわす。これらの品々が、将来も手に入り、生活に苦勞しないようにと願っておこなわれる。そのさいに、村の女性たちによって、事例28がうたわれた。

(事例28)

तनि ऐशन परछा अम्मा हिलैना पावै मुसरा।
आजमगढ़ जिला के आगे पटना।
तनि ऐशन परछा मामी हिलैना पावै खैलर।
तानी ऐशन परछा मामी हिलैना पावै कलसा।
आजमगढ़ जिला के आगे पटना।
तनि ऐशन परछा मामी हिलैना पावै सुपवा।
तनि ऐशन परछा मामी हिलैना पावै अचरा।

tani aiśhan parachhā ammā hilainā pāvai musarā.
Azamagaḍh jilā ke āge paṭanā.
tani aiśhan parachhā māmī hilainā pāvai khailar.
tanī aiśhan parachhā māmī hilainā pāvai kalasā.
Azamagaḍh jilā ke āge paṭanā.
tani aiśhan parachhā māmī hilainā pāvai supavā.
tani aiśhan parachhā māmī hilainā pāvai acharā.

パリチャンのように、アンマー（母親）が、揺らします、ムサラー（杵）を。
アザムガルのジラー（地区）の先は、パトナーです。

パリチャンのように、マーミー（母方の叔母）が、揺らします、カイラル（ヨーグルトの攪拌棒）を。

パリチャンのように、マーミーが、揺らします、カラサー（土の壺）を。

アザムガルのジラーの先は、パトナです。

パリチャンのように、マーミーが、揺らします、スープ（箕）を。

パリチャンのように、マーミーが、揺らします、アチャラー（サリーの端）を。

(4) ナークーン・ランガイーハ

ナウンが花嫁を沐浴させ、ウコンと石鹼を使って花嫁の身体を洗い清める。そのさいに、花婿の沐浴時にもちいた水を身体にかけ、花嫁は左足で土の壺を割る。花嫁は、着続けていたシャルワール・カミーズ（丈の長いワンピースとズボン）を脱ぎ、サリーを初めて着る。その後、ナウンが、花嫁の手足の周り（ナークーン）の赤い色を塗る（ランガイーハ）。そのさいに、事例29、30がうたわれた。

赤い色は血の色であり、生命の色であるため、吉兆な色として、婚姻儀礼では、さまざまな場面で使われる。ナークーン・ランガイーハは化粧を施すことであり、ヘンナを花嫁の両手、両足に化粧をする場合が多い。

(事例29)

चौके पे बन्नी अकेल हो।

कोई जादू ना मारै।

जादू तौ डालै उहै मलिया छोकड़वा जेकर मउर अनमोल हो।

कोई जादू ना डालै।

चौके पे बन्नी अकेल हो।

कोई जादू ना डालै।

जादू तौ डालै उहै दर्जी छोकड़वा जेकर सड़िया अनमोल हो।

कोई जादू ना डालै।

चौके पे बन्नी अकेल हो।

chauke pe bannī akel ho.

koī jādū nā mārāi.

jādū tau ḍālai uhai maliyā chhokaḍavā jekar maur anamol ho.

koī jādū nā ḍālai.

chauke pe bannī akel ho.

koī jādū nā ḍālai.

jādū tau ḍālai uhai darjī chhokaḍavā jekar saḍiyā anamol ho.

koī jādū nā ḍālai.

chauke pe bannī akel ho.

(マンダップの) チョーク (儀礼場) に、バンニーが1人です。

誰も、マジックをかけないでください。

マジックをかけます、そのマリヤー (花屋カースト) のチョコラワー (息子) が。彼の王冠は高いです。

誰も、マジックをかけないでください。

チョコークに、バンニーが1人です。

誰も、マジックをかけないでください。

マジックをかけます、そのダルジー (仕立屋カースト) のチョコラワーが。彼のサリーは高いです。

誰も、マジックをかけないでください。

チョコークに、バンニーが1人です。

(事例30)

बैठल बाटी बन्नी हमार हो।

नउन एड़ी तू भरदा।

हम ना भरभै हम ना भरवै एड़ी।

पहिले दैदा नेगवा हमार तब हम एड़ी भरबै।

बैठल बाटी बन्नी हमार हो।

नउन एड़ी भरदा।

baiṭhal bāṭī bannī hamār ho.

naun eḍī tū bharadā.

ham nā bharabhai ham nā bharavai eḍī.

pahile daidā negavā hamār tab ham eḍī bharabai.

baiṭhal bāṭī bannī hamār ho.

naun eḍī bharadā.

すわっています、私のバンニーが。

ナウン (床屋カーストの女性) が、あなたのかかとに、色をつけます。

(ナウンが言う) 私は、色をつけません。私は、かかとに、色をつけません。

最初に、ください、私にネーグ (チップ) を。そうしたら、私は、色をつけます。

すわっています、私のバンニーが。

ナウンが、かかとに、色をつけます。

(5) アグワーニ

花婿行列が、夕方から夜にかけて、花嫁の家に到着すると、花嫁の父が花婿を儀礼場に迎える。そのさいに、花嫁側の女性によって、事例31のような花婿を歓迎する民謡がうたわれる。

(事例31)

रचि रचि खोरिया बटोरै रधेश्याम भइया आई गइनै सग बहनोइ।
रचि रचि खोरिया बटोरै कृष्ण मोहन भइया आई गइनै दुलरू दमाद।

rachi rachi khoriyā baṭorai Radheśhyām bhaiyā āi gainai sag bahanoi.

rachi rachi khoriyā baṭorai Kriṣhnā mohan bhaiyā āi gainai dularū damād.

きれいにきれいに、道を掃きました。ラディシャーム（花嫁サンギータの甥）のバイヤー（兄弟）の
パハノイ（妹の夫、ここではサンギータの夫のこと）がやってきました。

きれいにきれいに、道を掃きました。クリシュナモーハン（サンギータのいとこ）のバイヤーの愛す
るダマード（義理の息子）がやってきました。

(6) タージ・パヒラナー

儀礼場に座った花婿に、花嫁の親族が紙でつくった王冠（タージ）をかぶせる。そのさいに、花嫁
の女性親族や近所の女性たちによって、事例32～35のような花婿や花婿一行をからかうガーリー
(gālī、嘲りの歌) がうたわれる。

(事例32)

पहिले सजन मंडप में आए क्योना किए गुडनाइट जी।
ऐसी छिनरिया मम्मी तेरी क्योना सिखाई गुडनाइट जी।
मम्मी मेरे मैके गई थी बहन गई ससुराल जी।
अबहिन हमारी बारी उमरिया कैसे करू गुडनाइट जी।
पहिले सजन मंडप में आए क्योना किए गुडनाइट जी।
कैसीथी तेरी चाची छिनरिया क्योना सिखाई गुडनाइट जी।
चाची मेरी मैके गई थी बहन गई ससुराल जी।
अबहिन हमारी बारी उमरिया कैसे करू गुडनाइट जी ।
पहिले सजन मंडपवा में आए क्योना किए गुडनाइट जी।
कैसीथी तेरी भाभी छिनरिया क्योना सिखाई गुडनाइट जी।
भाभी मेरी मैके गई थी बहन गई ससुराल जी।
अवहिन हमारी बारी उमरिया कैसे करू गुडनाइट जी।

pahile sajan maṇḍap mein āe kyonā kie guḍanāiṭ jī.

aīsī chhinariyā mammī terī kyonā sikhāi guḍanāiṭ jī.

mammī mere maike gāi thī bahan gāi sasurāl jī.

abahin hamārī bārī umariyā kaise karū guḍanāiṭ jī.

pahile sajan maṇḍap mein āe kyonā kie guḍanāiṭ jī.

kaisīthī terī chāchī chhinariyā kyonā sikhāī guḍanāīṭ jī.
chāchī merī maike gaī thī bahan gaī sasurāl jī.
abahin hamarī bārī umariyā kaise karū guḍaināīṭ jī.
pahile sajan maṇḍapavā mein āe kyonā kie guḍanāīṭ jī.
kaisīthī terī bhābhī chhinariyā kyonā sikhāī guḍanāīṭ jī.
bhābhī merī maike gaī thī bahan gaī sasurāl jī.
abahin hamarī bārī umariyā kaise karū guḍanāīṭ jī.

最初に、サジャン（花婿）が、マンダップに来ました。なぜ、しましたか。グッド・ナイトを。
チナロのように、あなたのマミー（母親）は、なぜ、教えましたか、グッド・ナイトを。
私のマミーは、実家に行きました。バハン（姉妹）は、サスラール（夫の家）に行きました。
今まだ、私は小さい年齢（子ども）です。どのようにしますか、グッド・ナイトを。
最初に、サジャンが、マンダップに来ました。なぜ、しましたか。グッド・ナイトを。
チナロのように、あなたのチャーチー（父方の叔母）は、なぜ、教えましたか、グッド・ナイトを。
私のチャーチーは、実家に行きました。バハンは、サスラールに行きました。
今まだ、私は小さい年齢です。どのようにしますか、グッド・ナイトを。
最初に、サジャンが、マンダップに来ました。なぜ、しましたか。グッド・ナイトを。
チナロのように、あなたのパービー（兄嫁）は、なぜ、教えましたか、グッド・ナイトを。
私のパービーは、実家に行きました。バハンは、サスラールに行きました。
今まだ、私は小さい年齢です。どのようにしますか、グッド・ナイトを。

(事例33)

देखो आई स्टैण्डर बरात स्मार्ट कोई लगता नहीं है।
स्मार्ट तो लगते है ससुर साले।
वोतो चलते है कुत्ते की चाल स्मार्ट कोई लगता नहीं है।
देखो आई स्टैण्डर बरात स्मार्ट कोई लगता नहीं है।
स्मार्ट तो लगते है बराती साले।
वोतो चलते है गदहे की चाल स्मार्ट कोई लगता नहीं है।
स्मार्ट तो लगते सुशील साले छिनरा।
वोतो चलते है गदहा की चाल स्मार्ट कोई लगता नहीं है।
देखो आई स्टैण्डर बरात स्मार्ट कोई लगता नहीं है।

dekho āī ṣṭaṇḍar barāt smārṭ koī lagatā nahin hai.
smārṭ to lagate hai sasuru sāle.
voto chalaṭe hai kutte kī chāl smārṭ koī lagatā nahin hai.
dekho āī ṣṭaṇḍar barāt smārṭ koī lagatā nahin hai.

smārṭ to lagate hai barātī sāle.
voto chalaṭe hai gadahe kī chāl smārṭ koī lagatā nahin hai.
smārṭ to lagate Suśhīl sāle chhinarā.
voto chalaṭe hai gadahā kī chāl smārṭ koī lagatā nahin hai.
dekho āi sṭaṇḍar barāt smārṭ koī lagatā nahin hai.

見て来てください、スタンダードのバラート（花婿一行）を。誰もスマートではありません。
スマートです。サスル（舅）・サーレ（嘲りの言葉）よ。
彼らは行きます、犬の歩き方で。誰もスマートではありません。
見て来てください、スタンダードのバラートを。誰もスマートではありません。
スマートです。バラティー・サーレよ。
彼らは行きます、ロバの歩き方で。誰もスマートではありません。
スマートです。スシール（花嫁サンギータの花婿）・サーレ・チナロ（嘲りの言葉）よ。
彼は行きます、ロバの歩き方で。誰もスマートではありません。
見て来てください、スタンダードのバラートを。誰もスマートではありません。

（事例34）

बोलो बोलो बराती साले वन टू थ्री।
तोहरे मम्मी के साथ मेरे पापा फ्री।
बोलो बोलो बराती साले वन टू थ्री।
तोहरे बहिनी के साथे हमरे भइया फ्री।
बोलो बोलो बराती साले वन टू थ्री।
बोलो बोलो जीजा साले वन टू थ्री।

bolo bolo barātī sāle van ṭū thrī.
tohare mammī ke sāth mere pāpā frī.
bolo bolo barātī sāle van ṭū thrī.
tohare bahinī ke sāth hamare bhaiyā frī.
bolo bolo barātī sāle van ṭū thrī.
bolo bolo jījā sāle van ṭū thrī.

言ってください、言ってください、バラティー・サーレよ。1、2、3。
あなたのマミー（母親）と一緒に、私のパーパー（父親）はフリーです。
言ってください、言ってください、バラティー・サーレよ。1、2、3。
あなたのバヒニー（姉妹）と一緒に、私のバイヤー（兄弟）はフリーです。
言ってください、言ってください、バラティー・サーレよ。1、2、3。

言ってください、言ってください。ジージャー（妹の夫、ここでは花婿）・サーレよ。1、2、3。

（事例35）

हम तोहसे पूछी बराती साले हो काहे सौकी भया।
तोहरी मम्मी जे गइनी लौकी लगे हो तबै सौकी भया।
हम तोहसे पूछी दुलहे साले हो काहे गोरा भया।
तुहरी मम्मी जे गइनी गोरा लगे हो तबै गोरा भया।
हम तुहसे पूछी ला ससुरु साले हो काहे काला भया।
तोहरी मम्मी जे गइनी काला लगे हो तबै काला भया।
हम तुहसे पूछी टकलहऊ साले हो काहे काला भया।
तुहरी मम्मी जे गइनी भाटा लगे हो तबै काला भया।
हम तुहसे पूछी बराती साले हो काहे गोरा भया।
तुहरी मम्मी जे गइनी गोरा लगे हो तबै गोरा भया।

ham tohase pūchhī barātī sāle ho kāhe saukī bhayā.
toharī mammī je gainī laukī lage ho tabai saukī bhayā.
ham tohase pūchhī dulahe sāle ho kāhe gorā bhayā.
tuhārī mammī je gainī gorā lage ho tabai gorā bhayā.
ham tuhase pūchhī lā sasuru sāle ho kāhe kālā bhayā.
toharī mammī je gainī kālā lage ho tabai kālā bhayā.
ham tuhase pūchhī ṭakalahau sāle ho kāhe kālā bhayā.
tuhārī mammī je gainī bhāta lage ho tabai kālā bhayā.
ham tuhase pūchhī barātī sāle ho kāhe gora bhayā.
tuhārī mammī je gainī gorā lage ho tabai gorā bhayā.

私は、あなたに尋ねます。バラティー（花婿一行）・サーレよ。なぜ、着飾りますか。
あなたのマミー（母親）は行きました。（ユウガオの）ヒョウタンのところに。だから、着飾りました。

私は、あなたに尋ねます。ドラへ（花婿）・サーレよ。なぜ、肌が白いですか。
あなたのマミーは行きました。白い肌の人のところに。だから、肌が白くなりました。

私は、あなたに尋ねます。サスル（舅）・サーレよ。なぜ、黒いですか。
あなたのマミーは行きました。黒い肌の人のところに。だから、肌が黒くなりました。

私は、あなたに尋ねます。禿げ頭のサーレよ。なぜ、黒いですか。
あなたのマミーは行きました。ナスのところに。だから、肌が黒くなりました。

私は、あなたに尋ねます。バラティー・サーレよ。なぜ、肌が白いですか。
あなたのマミーは行きました。白い肌の人のところに。だから、肌が白くなりました。

おわりに

本稿では、7日目の婚姻儀礼のさいにうたわれる民俗歌謡をとりあげた。7日目は、花嫁と花婿のそれぞれの家で、ほぼ同様の儀礼がおこなわれた後、夕方から夜にかけて、花婿一行が花嫁の家に到着し、様々な儀礼がおこなわれる。本稿では、7日目の半分ほどの儀礼を紹介したが、この後、ピヤーフと呼ばれる花嫁と花婿がそろった一連の儀礼が、夜を徹しておこなわれる。ここからずっと、花嫁側の民俗歌謡が続くので、次稿で詳しくとりあげたい。

〈参考文献〉

八木祐子

- 1990 「婚姻儀礼と女性の歌—北インドの村から—」八木祐子編『女性と音楽』（民族音楽叢書 第2巻）57-76頁 東京書籍
- 1991 「儀礼・職能カースト・女性—北インド農村における通過儀礼と吉・凶の観念—『民族学研究』56巻2号 181-208頁
- 1992 「女性・歌・パフォーマンス—北インド農村の婚姻儀礼をめぐる一試論—」『南アジア研究』第4号 59-78頁
- 1999 「結婚・家族・女性—北インド農村社会の変容—」窪田幸子・八木祐子編『社会変容と女性：ジェンダーの文化人類学』ナカニシヤ出版 36-65頁
- 2010 「チャイからコーラへ—北インド農村における婚姻儀礼の変化—」『南アジアの社会を読み解く』鈴木正崇編 慶応大学出版会 85-107頁
- 2015 「アザムガルの民俗歌謡—婚姻儀礼と女性の歌—」『多民族社会における宗教と文化』No.19 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所 37-52頁
- 2020 「ボーシプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その1）」『多民族社会における宗教と文化』No.23 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所 3-17頁
- 2021a 「北インド社会における女性の儀礼と口頭伝承—婚姻儀礼を中心に—」江口久編 八木祐子・手塚恵子責任編集『儀礼と口頭伝承』風響社 133-152頁
- 2021b 「ボーシプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その2）」『多民族社会における宗教と文化』No.24 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所 3-15頁
- 2022 「ボーシプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その3）」『多民族社会における宗教と文化』No.25 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所 3-14頁

〈参考資料〉

〈写真1~2〉 写真1は、パーンチ・パウエルをおこなっているところである。真ん中に花嫁サンギータがすわり、4人の子どもとサンギータが食事をしている。そのさいに、事例25の民謡を、村の女性たちがうたった。写真2は、床屋カーストが、マンダップという結婚式場を、色粉を使って飾っているところである。マンダップのまわりはサリーで飾られ、中心部には、結婚の壺や神に結婚を知らせると言われる木でかたどったオウムが置かれている。内部は、LED電球で、明るく照らされている。

〈写真1〉



〈写真2〉



〈写真3~4〉 写真3は、イナール・ビヤーフをおこなっているところである。花嫁サンギータが、母親に付き添われて、井戸を左回りに5回まわる。そのまわりで、村の女性が、事例26、事例27の民謡をうたった。

〈写真3〉



〈写真4〉



〈写真5～6〉写真5はパリチャン、写真はナークーン・ランガイーハがおこなわれたときのものである。パリチャンでは、母親が花嫁の頭上で、生活に必要な5つの品物を、左回りに5回ずつまわす。写真5では、コップに入った水をまわしている。そのさいに、事例28がうたわれた。ナークーン・ランガイーハは、床屋カーストの女性であるナウンが、花嫁を沐浴させ、吉兆な色である赤い色を手足に塗って化粧をする。写真6では、ナウンが、花嫁の足に、赤い色を塗っている。そのさいに、事例29、事例30がうたわれた。

〈写真5〉



〈写真6〉



〈写真7～8〉写真7は、花婿行列が、花嫁の家に到着したものである。花婿のスチールは、飾り立てられた小型車に乗って、花嫁の家に到着した。写真8は、花婿に対するアグワーニヤタージ・パヒラナーがおこなわれたときの写真である。そのさいに、事例31～35の民謡が、花嫁側の女性たちによってうたわれた。

〈写真7〉



〈写真8〉

